

グラフィック・シラバスの作成方法

■講師



佐藤 浩章

(愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 副室長・准教授)

北海道大学大学院教育学研究科博士課程単位取得満期退学。2002年度から、愛媛大学で授業改善・カリキュラム開発・組織開発の方法、学生の学習・生活の支援に取り組む。この間、米国ポートランド州立大学客員研究員、名古屋大学客員准教授、北海道大学客員准教授、筑波大学客員研究員、国立教育政策研究所客員研究員、キングスカレッジロンドン客員研究フェローを兼任。

■プログラム概要

シラバスは、学習目標やスケジュールが書かれた、授業に関する最大重要文書と言えます。ところが、教員が期待するほどには、学生は注意深くシラバスを読んでいないのも事実です。たとえ、学生が読んだとしても、教員が持つ背景的知識を踏まえてシラバスの内容を理解することは困難です。グラフィック・シラバスとは、学習内容をフローチャート、ダイアグラム、樹形図として一枚のマップに表現したものです。学生はこれを読むことによって、学習目標や内容を効果的に理解できるだけでなく、容易に記憶にとどめることができます。また教員は、これを通して、自らの授業内容を精選し、よりスムーズな流れで再構成を行うことができます。

本ワークショップでは、カナダ・マギル大学におけるワークショップで、グラフィック・シラバスを作成した講師の経験をもとに、その意義や特徴を説明します。その上で、参加者全員が自らの授業についてグラフィック・シラバスを書き上げることを目指します。

当日はご自身のシラバスを持参下さい。

参考文献 Nilson, Linda B. 2007, The Graphic Syllabus and the Outcomes Map, Jossey-Bass, San Francisco, CA

■主な受講対象

シラバスをより充実させたい大学教員

■本プログラムの到達目標

1. テキスト・シラバスの限界を説明できる
2. グラフィック・シラバスの特徴を説明できる
3. グラフィック・シラバスの作成手順を説明できる
4. 自らの授業についてグラフィック・シラバスを書き上げる

■日時・会場・受講定員

日 時 : 平成25年8月20日(火) 15:30～17:30

会 場 : 愛媛大学 城北キャンパス 校友会館 2階 サロン

定 員 : 40名